



さきやまぶ

里山辺地区防災訓練実施

「知っている」から「できる」に

9月7日、里山辺地区防災訓練が実施されました。昨年同様、朝まで降雨のため、里山辺体育館をメイン会場として、山辺中学校柔剣道の2カ所で行われました。

里山辺体育館では、開会式・AED使用による救命処置・炊き出し等が実施され、柔剣道場では、短時間で救命効果を得るための優先度を判断するトリアージ(選別)を中心に講習をうけました。

いづれも万一発生した災害に役立つことで、とても有意義でありました。

日本では、関東大震災のあった9月1日を、1960年に防災の日と定め、国を挙げての防災訓練が行われています。元々地震から始まった防災訓練ですが4年前の東日本大震災、そして将来発生するとされる首都直下地震、南海トラフ巨大地震など私たちの地震に対する心配はつきません。また、近頃は地球温暖化

里山辺公民館
電話 32-1077
FAX 37-0640

の影響か台風が強力になり、西日本を中心とする大雨の被害のニュースが連日飛び込んできます。長野県内では、木曾での土石流災害が記憶に新しいかと思えます。

地震、大雨、台風など里山辺地区ではこれまで大きな被害もなくきました。しかし、これからはどうなるかわかりません…。より一層このような防災訓練が重要になってきます。

例えば、消火器を使う、応急手当をする、といったときは、普段の平穏な気持ちではいられません。そんなときでも確実に行動するためには、体験し、身体で覚えておくことが有効です。とはいえ、日常の中でこうした体験をするのは容易ではありません。

防災訓練で体験し、「知っている」を「できる」にしておきましょう。

館報編集委員 塩原 司

わが町紹介

● 新井町会 ●

つながりの町会に

百考不如一行

百考するより一行動が大切人は常に人によっていかさされていると思うこの頃だ。会社勤めの時は「人よりも」「ライバル会社よりも」という経済至上主義に冒されて、人としての自分を見失なう事が多かったように思う。有難い事に、私は地域に大事にしても良かった。お祭りや公民館活動が目線を変えるきっかけだった

た。会社とは全然違う組織を考え方がまるで違う先輩諸氏のエネルギーに驚くと共に、なんとなく居心地の良さを感じたのである。会社とは異なる自分が活かされている感覚を地域に感じたのである。

活動の始まりは先輩の誘いであつたが、考えるよりも行動してみたのが現在に繋がっているのだろう。良い結果、悪い結果を百も二百も考えることは大切だと思いが、行動(一歩を踏み出す)する機会を失っては勿体無いと思う。

地域の役員の引き受け手が無く困ったという声をよく聞く。地域はまだまだ行動しなくてはならない事が山積みし

第61回 野排球大会

8月24日(日)、野球・ソフト排球ともに14チームが参加して白熱した試合が行われました。野球は、第一試合開始直後に雨が降りましたが試合が終わるころには雨もあがり無事決勝戦まで行えました。

大会結果
【野球】 Aブロック Bブロック
優勝 新井 西小松
準優勝 南北小松 美里町

【ソフト排球】 Aブロック Bブロック
優勝 林 上金井



上金井町 優勝を記念して

準優勝 湯の原 西荒町
ソフト排球Bブロック優勝 上金井町会 勝者の声 『二連覇は流石!! 町会の団結力の賜です。』

ている。一歩を踏み出してみよう。できる事でよいから。 新井公民館長 多田 健



町会焼肉会の風景

郷土の誇り

初代東大病院長

花岡 真節

1830~1884

里山辺藤井生れ(花岡吉次郎二男)17歳で江戸に上り、西桐原出身の幕府漢方系奥医師「桐原鳳郷」「林洞海」「大村益次郎」等に学び「鳳郷」の養子となった。後、長崎で蘭学、西洋医学を学び、江戸医学所教授となった。明治10年東京大学設立と共に医学部教授、明治15年には初代病院長となった。が任期中47歳で病没された。東京谷中の天王寺に頌徳碑がある。

以上金井医院の金井清志先生から「偉大なる郷土の先輩」紹介の冊子を頂きましたので紹介します。

館報編集委員 細野 麗

各町会の盆踊り

藤井町会盆行事

藤井町会では、以前からお盆の14日に午前中はスポーツ大会、夕方からは盆踊りが行われていきます。スポーツ大会は、最近では大勢の子どもたちが参加出来る様になっている種目を用意しています。町会のお年寄りに聞いた所半世紀以上前より行われているからもう続いている様子を願っています。

館報編集委員 赤木 秀雄



藤井町会の盆踊り

北小松納涼祭開催

去る7月26日(土)第2回目の北小松納涼祭が開催されました。地域住民の交流を主旨として北小松公民館前に出店を設け飲食物を販売し、館内ではミュージシャンショー等を催しました。酷暑の中、延べ200名を上回る方に来

場頂きました。開催にお力添え戴いた町会の皆様にご心より感謝申し上げます。

実行委員長 横山 寛



納涼祭で地域の和が広がる

さくやまへ散歩



小松町にある無人販売所

小松町内の無人販売所を訪ねました。近所の方が丹精込めて作ったトウモロコシやジャガイモ等の色々な野菜が並べられておりました。是非立ち寄って、買い求めてはいかがですか。安くて新鮮です。

館報編集委員 丸山 健一

地域で子どもを育てる

「学校サポート事業」

「学校と地域が一体となって子どもたちを育てる」を合言葉に今年も八月三十一日に「学校応援団」事業の一環として入・里の町内公民館長の方々に校庭の草刈りをしていただきました。実施が危ぶまれるような雨でしたが、作業開始に合わせたように雨が降り、あつという間にきれいに刈り取られました。おかげさまで気持ちのいい校庭で思う存分運動会を行うことができます。

それぞれご都合がある中を、子どもたちのために力を尽くしてくださいました皆様方に心より感謝です。山辺の子どもたちは地域によって育てられています。本当にありがとうございます。

山辺小学校校長 桐原 寧



雨の中の草刈り

第30回歴史民俗資料館特別展

恒例になりました夏休み釣り講座は、8月7日に薄川金華橋上で5家族15人の参加で行われ、多い人はひと家族で12匹のニジマスを釣り大喜びでした。一族に一人の講師(犀川漁協の方)が付き熱心に教えて頂きました。

歴史民俗資料館では、30回目の特別展として標記の展覧会を開催いたします。期間中多くの方々に百瀬画伯の世界に触れていただきたいと願っております。

◆夏休み釣り講座
恒例になりました夏休み釣り講座は、8月7日に薄川金華橋上で5家族15人の参加で行われ、多い人はひと家族で12匹のニジマスを釣り大喜びでした。一族に一人の講師(犀川漁協の方)が付き熱心に教えて頂きました。

10月28日から11月3日まで山辺学校歴史民俗資料館2階にて開催いたします。入場料は無料です。

◆里山辺公民館の和室が綺麗になりました。
5月に畳替えを花岡畳店(兎川寺)さんにしていただきました。8月には中野表具店(新井)さんに、入口と押入れの襖を新しいものに交換と下駄箱のクロスを張り替えていただきました。みなさん大切にご利用ください。

今回は、30回という節目に当たることもあり、郷土が生んだ著名な百瀬画伯の作品を一挙に60点以上も展示いたします。百瀬画伯の作品は、その知名度から全国に散らばっています。この機会に是非ご覧ください。

◆地区文化祭「作品募集」
第40回里山辺地区文化祭が、11月1日(土)・2日(日)に行われます。作品展は2日間、里山辺公民館では、展示作品を募集していますので、お問い合わせください。ステージ発表のほか、販売コーナー、福祉ふれあいフェスティバルは2日(日)の開催です。ぜひお越しください。

里トピックス

◆フォレストクラブ
夏休みのフォレストクラブは、8月2日、3日に8家族23人の参加で行われました。美ヶ原の天狗の路地(美ヶ原自然保護センター)から思い出の丘の約4kmを歩き、夜は美ヶ原少年自然の家に宿泊し、キャンプファイアーで大いに盛り上がりました。

山辺民俗資料館
指導員 手塚 義雄